

令和2年度  
金沢大学ステークホルダー協議会  
実施報告書

令和2年9月  
国立大学法人金沢大学

## 概 要

例年開催しておりました「金沢大学ステークホルダー協議会」について、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面での開催を中止することいたしました。

しかしながら、本学としては同協議会を、日頃から本学に対し多大なご支援・ご協力をいただいております皆様方に対して、本学の教育・研究・運営等の状況を報告させていただくとともに、皆様方からのご意見やご要望を頂戴する貴重な場貴重な機会と捉えております。

そこで、今年度につきましては、例年協議会でお渡ししております冊子「私たちの金沢大学」にて本学の活動状況をご報告させていただき、本学 Web サイト等にご意見・ご要望をお寄せいただく方法に変えて実施いたしました。

ご意見・ご要望を頂いた方：24名

### 【内訳】

学外：9名

卒業生 1名，高等学校 1名，自治体 3名，  
企業等 2名，経営協議会委員 2名

学内：15名

学生 14名，教職員 1名

## ステークホルダーのご意見

### 【教育・学生生活カテゴリー】

- ①角間キャンパス全体的に食堂が混みがちなので、気軽に食事ができるファストフード店を設置してほしいです。

#### 金沢大学の回答

食堂の混雑は、席数の拡充等により生協と連携し改善を図っているところです。また、ファストフード店の出店は、学生サービスの向上に向けて種々検討していきます。

- ②LMSのような学びの仕組みを用意していただき感謝しております。家庭を持った方も生活を守りつつ学びを進めております。画面注視や課題の往還でPCへ向かう時間も長く、視力低下やだるさを訴える院生も随分います。以前行っていただいた健康調査をもう一度行っていただけないでしょうか？

#### 金沢大学の回答

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、第1クォーター・第2クォーターは遠隔授業が多くを占めていた状況も踏まえ、5月にWebで心身の健康に関する調査や相談について保健管理センターと連携し実施しました。

- ③GS科目で他分野の先生や留学生を含む院生方と出会えることは刺激的です。ただ英語を学ぶことが主なのか、英語で伝えられている内容が主なのかが捉えきれずに混乱しています。日本語表記を増やしたり後日日本語資料をいただくなどサポートがあれば学びが深まると思います。

#### 金沢大学の回答

GS科目では文理にわたる様々な学問を広く「教養」として教授しています。その内容がもちろん主であり、英語を学ぶことが主ではありません（GS科目とは別にGS言語科目として開講しています）。英語による教養の涵養をすすめる目的でGS科目の授業英語化を進めていますが、そのことで日本語による理解を毀損することのないよう、バランスを重視しています。

- ④理系の学生の立場の意見として、留学しようとしている学生など意欲のある学生に対しては非常に親身になって留学をサポートしていただいているので助かっている。学生全体を見ると、まだまだ留学に対する意識が薄いように思われる。

#### 金沢大学の回答

公式海外派遣プログラムの提供や、留学の単位化、奨学金制度など、様々な留学サポートを行い、学生の海外体験を支援しています。

ご指摘のとおり、理系学生の留学は短期に集中しており、長期留学者は圧倒的に文系学生の方が多い状況です。例えば学域学生の約6割が理系所属ですが、令和元（2019）年度の派遣留学

(長期交換留学)者 65 名のうち理系学生は 1 名(大学院)でした。理系学生の長期留学が困難な理由として、必修科目が多く積み上げ型のカリキュラムであること、実験や研究などで恒常的に多忙であることが挙げられます。

本学では、留学情報を一元化したポータルサイトの公開、派遣留学説明会や相談会の実施の他、トビタテ！留学 JAPAN 奨学金への申請支援や、クォーター制を利用した留学、大学院学生を対象としたプログラムを実施し、長期留学に対する意欲を高める取組を全学的に進めています。

- ⑤授業を英語化するなど意識はみられるが、それにより学生が自発的に英語を勉強しているわけではなく、英語試験の点数は伸びないと思われる。『私たちの金沢大学』では英語試験の目標点をかなり高く設定しているが、それを達成するためにオンラインの自主学習だけでなく英語講座も、理系科目としてもっと開催していただきたい。

### 金沢大学の回答

英語による授業の実施は、学生の高い英語力のみならず、教員側の準備や熟達も必要とし、即効的な対応策のない地道な課題と考えています。その実現のため、学生の英語力アップを企図した教育の充実に加え、教員の英語力アップを企図した研修の充実も実施し、英語力向上に直結する留学プログラムの拡充等、現在策定中の包括的な英語力強化プログラム「Fire up Program」において、学生にも教員にも有益となるような連携支援の仕組みを構築しています。専門教育においては、「学域 GS 言語科目」を全学類必修科目として開講していますが、内容については、ご意見も参考に改善していきます。

- ⑥医学展と金大祭の日程を統一することで金沢大学の一体感をもっと学生、地域住民の方へアピールできるのではないかと考えますが、どうでしょうか。

### 金沢大学の回答

共用物品等の課題もありますが、日程統一の可能性についても今後検討していきます。

- ⑦宝町キャンパスでの ATM の設置の検討(角間キャンパスのように)

### 金沢大学の回答

ATM の設置等の含め、より良い大学生活を送ることができるよう、キャンパスの整備について検討を続けていきます。

- ⑧鶴間での勉強と生活が中心なので、角間でのイベント(健康診断など)はとても行きづらくて、大変です。イベント等は鶴間や宝町でも行ってもらえるとてもありがたいし、大学側でバスを用意し、鶴間の学生が一斉にイベントへ行けるような対応をとってもらえると行きやすいです。ぜひご検討よろしく申し上げます。

### 金沢大学の回答

イベント・行事等の内容やバスを利用する学生数の状況等を精査の上、可能なものについてはその対応方法等について関係部署等と連携しながら検討していきます。

- ⑨来年度以降のネット教材利用に対しては保証金が課されるが、本学はそれを払わないということを目にしました。著作権法上の保護対象となる文献を扱うことが多い文系の授業、とりわけ人文学類の関係者にとって不利となることが予想されますが、勉学を促すためにも積極的に検討するべきではないでしょうか。

### 金沢大学の回答

本学は、「現時点において指定管理団体である SARTRAS の『補償金』における対応が明確でない」と判断したため、令和 2 年度の申請を見送りました（令和 2 年度は元来無償）。

補償金の対象となるのは「ネットの教材利用」ではなく、授業における「公衆送信」です。具体例を挙げれば教員が「WebClass に他人の著作物の一部をアップロードすること」や、予習の指示として「他人の著作物の一部を履修者にメール送信すること」等がそれにあたります。これまでどおり「著作権法上の保護対象となる文献」の一部を複写し、対面授業において配付することは今後も法律上の問題にはなりません。

現時点において、令和 3 年度の SARTRAS の『補償金』における対応自体がまだ決定していません。そのため、本学の対応も未定です。

今後、With コロナの時代となり、本学の授業は対面と遠隔のハイブリッドになっていくことが考えられます。それゆえ、「著作権法上の保護対象となる文献」の一部は、そのコピーを対面時に配付し、解説はオンラインで行う等の形態をとることで、著作物の「公衆送信」を行うことなく、これまでどおりのクオリティで授業を行うことは十分可能であると考えています。

- ⑩ SARTRAS に届け出しない理由を具体的に説明すべきです。遠隔授業を行う教員は教材づくりに大きな負担を強いられ、また期せずして著作権を侵害してしまった際に発生するペナルティーについて強い不安を感じています。少なくとも大学として今回の決定に至った理由、今後の見通しについて詳しく説明すべきです。

### 金沢大学の回答

先の学生への回答のとおりです。付け加えるとすれば、本学が SARTRAS に届け出を行わなかったとしても、著作権法第 35 条の範囲内の「公衆送信」にペナルティーはありません。

- ⑪新型コロナウイルス感染症の影響で多くの授業がオンライン上で開講されているが、授業形態、評価方法が明確でない授業が散見されます。改善を求める学生も多いのですが、何らかの措置はなされているのでしょうか。

### 金沢大学の回答

本学では、授業の開講形態や評価方法をシラバスで開示しています。第3クォーターの開始にあたり、授業の開講形態や評価方法は重要な指標であることから、全ての科目について、履修登録前までに、授業の開講形態や評価方法についてシラバスに明示するように指示しています。入力状況、内容はチェック体制を構築するなどして改善します。

⑫所属する国際学類で開講されている授業の時間割に偏りがある。各クォーターで平等に授業を履修することができない。

### 金沢大学の回答

現在、ご指摘のように時間割にクォーターごとの偏りがあるとの認識はあり、改善に向けて鋭意検討中です。ただし、教員側で感じている偏りと、実際に履修する学生の側で感じている偏りの認識に違いがある可能性があるため、学生にアンケートを行うなどの意見聴取を行って、具体的な改善点を確認しながら進めていきます。

⑬学生を獲得する施策や数値目標を明確にされてはいかがでしょうか。また、外国からの留学生への支援に比べ日本の学生への支援が見劣りするように感じます。コロナ禍によっても今後内外の人の往来の在り方も変化すると思います。国内の優秀な学生が成長できるよう、国内学生へのさらなる支援策もご検討いただきたく存じます。

### 金沢大学の回答

学内では学生を獲得する施策を立てていますが、対外的に明確にしてはどうかとのご意見は、今後検討させていただきます。

また、授業料減免、奨学金等の経済的支援のほか学生生活支援や就職支援等、学生支援の充実を図っていますが重点施策や予算との調整も必要であり、さらに一層学生支援を拡充できるよう努めます。

⑭大学院での授業の英語化を進めるとのことですが、現在も授業の一部は英語化されていますが、英語化することに向いていない分野も英語化を進めていくのでしょうか。英語化されてもよい授業や分野もあると思いますが、すべてを英語化することにメリットを感じません。母国語での理解や研究手法を学ぶことが先のように感じます。

### 金沢大学の回答

授業の英語化に関しては、今後も全学的に推進していきます。また、全ての授業が対象ではなく、日本語で行う必要性があり、そのことで学修成果が高まる科目や国家試験に関わる科目などは英語化の対象から除いています。学生の授業の理解度、学修成果の達成度向上のためには、授業の理解を疎かにしないことが第一であり、英語化の数値目標が第一の目標ではないのは当然です。

一方で、教育・研究のグローバル化・ボーダレス化は更に加速しており、そのような環境で引き続き本学はグローバル人材の育成という目標の下、質の高い教育を提供していきます。

なお、本学では、『何のための「授業英語化」か?』と題して、英語化の経緯や意義を学生に対

してわかりやすく提示しています。ぜひご一読ください。  
(参考) 何のための「授業の英語化」か？英語化マニフェスト 2016(学生篇)  
[https://sgu.adm.kanazawa-u.ac.jp/kusgu/pdf/04\\_Manifesto\\_Student.pdf](https://sgu.adm.kanazawa-u.ac.jp/kusgu/pdf/04_Manifesto_Student.pdf)



⑮コロナウイルスの影響で授業はオンライン又は対面で行っているが、第3クォーターになったらどうなるのか、授業形態を早めに教えてほしい。

### 金沢大学の回答

第3クォーターは感染拡大の防止と学生の学修機会の両立をはかるため「新しい生活様式」及び文部科学省が策定した「衛生管理マニュアル」に沿った、徹底した基本的感染症対策を実施した上で、原則として対面により授業を実施します。

⑯コロナウイルスの影響で海外に滞在することになった学生たちへのサポートはあるのか。もしあれば、どのようなサポートをしているのか教えてほしい。

### 金沢大学の回答

新型コロナウイルス感染症が拡大し始めた時点で、留学中だった日本人学生はすべて帰国しましたが、同感染症拡大前に出国し本学の帰国指示により帰国した場合に、特例として以下のサポートを行いました。

- ・日本への再入国の際に義務付けられる14日間の待機に係る費用を支援する。
- ・旅費等のキャンセル料や追加費用等を支援する。

また、本学では同感染症拡大前に一時的に出国し、現在入国制限のため渡日できない外国人留学生（日本人は入国制限の対象外）に対し、以下のサポートを行っています。

- ・日本への再入国の際に義務付けられるPCR検査や14日間の待機に係る費用を支援する。
- ・政府からの給付金等経済的な支援につながる情報を発信する。
- ・授業等を遠隔で行い、単位修得を可能とするとともに、在籍身分（休学、在学、入学延期等）を本人の意思で選択できるよう柔軟に対応した。
- ・日本で借りたままになっている宿舍の家賃等について、経済的負担を軽減するための支援を行うことを予定している。

⑰所謂文系と称される学域や学類の未来像がややわかりにくいように思われます。展望をお聞かせください。

### 金沢大学の回答

人間や社会に関する現象の、意味を明らかにすることが人文・社会科学系の学問の任務であり、学域はそれを教育する場であると、考えています。

人文諸科学（哲学・文学・言語学・歴史学・心理学・文化人類学など）と、社会科学（法律学、経済学・経営学、教育学、社会学、地理学など）が、それぞれの角度から現象を切り取り、意味について考えます。

学生の進路は、国や地方自治体、民間企業、学校など様々ですが、多くが人間を相手にする仕事に就きます。人間を相手に仕事をするとき、最も重要なことはそれぞれの現場で自分が向き合う事象の意味について、粘り強く考え続けることです。それができる職業人に対するニーズは減ることはないどころか、今後ますます必要になってくるのではないのでしょうか。私たちはそうした職業人を養成したいと考えています。

- ⑱新しく設置される予定の医薬科学類は、どのような経緯で設置されることになったのかと具体的なカリキュラム（研究室の配属や授業の内容についてなど）が知りたいです。  
創薬科学類が廃止され、新学類の定員人数も減っていることで、創薬研究に熱意ある人材が少なくなってしまうのではないかと感じました。

### 金沢大学の回答

超高齢社会における健康寿命の問題やがん・認知症等の増加、新型コロナウイルス等の新興感染症の脅威など、人類は健康や医療に関わる諸課題に直面しています。本学では、薬学領域の専門性からこれらの解決に挑戦し、持続可能社会の実現に貢献できる人材の育成を強化すべく、薬学類の入学定員を35名から65名（予定）に増やします。新しい薬学類では、「薬剤師国家試験」合格による薬学関連の知識・技能・態度を身につけた保証に加えて、様々なプラスαの専門性を付与し、主に次代の薬学教育・研究を担う大学教員・薬学研究者、急速な社会の変化に対応できる多様な薬学プロ人材、医療現場において他職種連携によるチーム医療に貢献できる主導的薬剤師等の養成を目指します。そのため、新しいカリキュラムでは、早期からキャリア形成の科目と研究マインド醸成の科目を充実させ、薬学関連の基礎知識をしっかりと身につけながら、自分の進路・将来像を定め、各々に適した多様なアドバンス選択の科目を提供します。一方、近年、新興国の研究力強化により、本邦の基礎医学・基礎薬学領域の国際的競争力が相対的に低下しているだけでなく、博士後期課程進学者の減少により次代の研究の担い手の枯渇と一層の研究力低下が懸念されています。この背景の中、本学では創薬科学類を発展的に改組して、医薬科学類を設置し、次代の先進医療や画期的新薬開発等に寄与するイノベティブな研究者人材を養成することにしました。この学類には、生命医科学コースと創薬科学コース（配属各9名）があり、1年次は医学と薬学の基礎を共通に学び、2年次からコースに分かれて各々の専門科目を階層的に学んでいきます。並行して、1年次から研究マインド・倫理観・国際性を醸成する科目を開講し、研究者の道を歩み始めます。コース分け後も、他コースの開講科目を履修でき、両コース合同の特別演習や課題研究合同発表会も開催する予定です。研究室配属に関しては、どちらの学類も3年次第2クォーターからであり、従来より早期に課題研究が始まります。

以上のように、新・薬学類からは、薬学をより深く学び、臨床現場も経験して国家試験にも合格した上で、高度な研究力を身につけた博士人材が創薬研究に貢献することができ、医薬科学類の創薬科学コースからは、少数精鋭の濃密な研究者養成教育を受け、医学・薬学の幅広い視点と基礎薬学・創薬科学の深い専門性を併せ持つ特色ある博士人材が創薬研究に貢献することができます。また、医薬科学類の生命医科学コースからは、医学・薬学の幅広い視点と基礎医学・生命医科学の深い専門性を併せ持つ特色ある博士人材が生命医科学研究に貢献することができます。それゆえ、創薬研究に熱意のある人材の受け皿や選択肢はむしろ増えることになり、決して減ることはありません。

⑩今後のコロナ対策について Web での映像授業が取り入れられていますが今後もその映像を用いれば、教授が毎回授業する必要がなくなり、より研究活動に邁進できたり学生側もより自由に学問に触れられたりとメリットが多いと考えましたが今後はどのような形で授業が行われるのでしょうか。

### 金沢大学の回答

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、「新しい生活様式」を取り入れ感染症対策を実施した上で、対面授業を実施する方針です。

一方でオンライン型授業には時間的・距離的な制約の回避や複数回の視聴といったメリットもあります。 今後は、オンライン授業は単なる対面授業の代替措置としてではなく、ご指摘のような ICT 技術を活用することで、より学修成果が上がるよう、例えば、事前学修（予習）としてオンデマンド教材を視聴したうえで、授業に臨み知識の定着を図る「反転授業」や、学内外の大学・研究機関との教育連携による講義の相互提供等、これまでに本学が取り組んできた ICT 教育を引き続き推進し、質の高い教育を提供していきます。

⑪来年度に新設予定の「融合学域先導科学類（仮称）」との連携に関心を持っており、今後、機会をもたせて頂ければと考えています。

### 金沢大学の回答

本学類は、人材輩出先として自治体等において新たな制度設計を担う職員等も想定しており、今後自治体との連携を強化していく予定としています。社会変革の先導を目指す本学類の詳細についてご説明する機会を設けますので、ご協力願います。

⑫私たちの金沢大学 2020 の p.23 において、入学志願者が全国からあったことは特筆して大きく記載すべきではないか。

### 金沢大学の回答

全国及び海外から入学者が集まる総合大学ということは折に触れ PR していますが、今後一層の PR に努めます。

⑬～地域「超」体験プログラム～ 令和元年度の「白山麓合宿」では、白山手取川ジオパークを通して、白山市の自然・歴史・文化・人との関わりを、学び、知ってもらい、古くからの生活の知恵を体感し、地域の方々との交流も深めていただいた。今後も連携して取り組みたいと考えている。

### 金沢大学の回答

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、学生及び地域の皆様の安全を第一に考え、白山麓合宿を含む本年の合宿は全て中止としましたが、今後も連携して取り組んでいきたいと考えますので、今後ともご協力願います。

- ②「金沢大学国際機構SDGsジオ・エコパーク研究センター」を拠点に、白山市白峰地域での貴学の教育研究活動の推進並びに白山手取川ジオパークの保護、普及、教育、ツーリズムと様々な面からのご支援ご協力を賜りたい。

### 金沢大学の回答

今まで白峰で行ってきた留学生向け「ユネスコジオ・エコパーク」授業、白峰ホームステイ活動、インターンシップ、ロシア6大学の受入れコースやロシアジオパーク研究者派遣、自治体交流などを継続して行い、「金沢大学国際機構SDGsジオ・エコパーク研究センター」を拠点に、白山市白峰地域での教育研究活動の推進並びに白山手取川ジオパークに貢献していきたいと思えます。

- ④出張型の金沢大学・大学院入試説明会を開催してみたいかどうか。私は北海道と東北の出身なのですが、当方田舎のため金沢大学の知名度はそれほど高くありません。金沢大学大学院には恵まれた研究環境・教育環境があること、卓越やWPIに採択されていることなどの情報が回ってきません。非常に勿体無く思えます。

### 金沢大学の回答

大学院の入試説明は研究科ごとに実施しています。大学院は専門性が高いので、各研究科が一同に会して説明会を行うことは大学院学生募集の観点から困難です。

なお、学士課程では、今年度はオンラインによるオープンキャンパスや高校側との懇談会等を開催し、本学の恵まれた研究環境・教育環境をPRするとともに、KUGS 高大接続プログラムでも研究紹介動画等を提供するなど、志願者に本学のPRを拡充していきます。

- ⑤東北地方の各県では、東北圏内に限らず北海道の大学（大学院）の説明会が順に行われます。そこでは、入試係だけでなく教員なども参加し、研究室での活動内容などを説明されます。金沢大学（大学院）も同様のものを開催してみたいかどうか。地方の大学生は、都内など複数の大学院の説明会に参加するために経済的なコストがかかります。私の友人にも経済的な理由で、遠方での説明会やラボ見学を断念している人もいました。

### 金沢大学の回答

本学でも学生募集の一環として、教員訪問や動画配信による出張講義を行っています。今後さらに、Webによる情報提供等も含めて拡充していきます。

- ⑥学生の募集・就職活動には、事務職員のリーダーシップのもとその積極的な関与と協力があるといいのではないかと。

### 金沢大学の回答

学生募集活動では、進学説明会や行事運営など事務職員が企画・運営するとともに、教員と役割分担しながら積極的に関与・協力しています。

また、就職支援では、キャリアコンサルタント等の資格を取得した職員を配置し全学的なガイダンスや就職相談を企画・実施しています。今後はコロナ禍の影響による雇用情勢の大幅な変

化等が予測されることから、積極的に海外の方や教員と連携・協働し、変化に対応した就職支援策の充実を図っていきます。

### 【研究・社会連携カテゴリー】

①私たちの金沢大学「産学連携」ページに具体的な事例を記載できるとよい(P16のように)。

#### 金沢大学の回答

共同研究については基礎研究のものが多く、企業との秘密保持の観点もあることから、会社名についても記載できないものもあり、具体的な事例を広報誌に記載することは難しい場合があります。

しかしながら、金沢大学の研究力を示すことができる機会でもあることから、掲載可能な好事例があれば積極的に記載できるよう検討していきます。

②多岐にわたる先見性に富む取組に強い意欲が伝わります。基礎研究分野の充実も期待します。

#### 金沢大学の回答

大学独自の研究支援として、「金沢大学戦略的研究推進プログラム」による研究費の支援を行っています。プログラムでは、本学の研究力の底上げを通じた基盤強化、さらには次世代の育成に主眼を置き、外部資金獲得と本学の国際的な研究活動の活性化に繋がる支援をしています。あわせて、若手研究者の研究費及び研究環境整備費が支援される文部科学省「卓越研究員事業」（これまでに16名受入れ）等の公募事業を活用し、若手研究者の研究支援に資する外部資金獲得を積極的に行っています。

また、先端科学・社会共創推進機構においても、研究者に対し、外部資金獲得支援として構想立案の早い段階からの手厚いサポートを行っています。

今後も研究活動の活性化を推進していく所存です。

③コロナ禍を契機とした社会変化は、暮らしや教育、医療、働き方、コミュニケーションなどあらゆる場面でのICTやAI、ロボットなどの科学技術の応用を大きく前進するものと考えられる。大学が誇る専門的知見やノウハウを活かしたイノベーションにより、複雑かつ多様化した地域課題の解決に向け、協力をお願いしたい。

#### 金沢大学の回答

コロナ禍を契機とした社会変化を前向きにとらえ、連携推進会議など様々な対話を通じて、複雑かつ多様化した地域課題をお伺いし、本学が有する専門的知見をフィードバックしてまいりたいと考えます。また、課題解決に向けた社会実装に際しては、自治体や企業のみならずと連携・共創して実施していきますので、引き続きご支援・ご協力をお願いしたいと思っております。

④産学連携の件数・金額が毎年堅調に増加していることは地域企業・産業の活性化にとって大変喜ばしいことと存じます。当行としても引き続き、当行の強みである広域店舗網を活用し、貴学と地域企業との連携を支援していきたいと存じます。

#### 金沢大学の回答

本学では同一県内企業との共同研究・受託研究については近隣大学と比較すると件数・金額いずれも多くはないことから、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

⑤同時に依然として貴学との連携の入り口が分からず二の足を踏んでいるという企業の声も聞こえてきます。例えば、就職や共同研究等の企業からの照会・相談を受付する「なんでも相談窓口」の設置や企業が貴学と連携する場合の具体的なメニューを対外的に開示することにより、一層地元企業が相談しやすい環境を作っていただきたいと思います。

#### 金沢大学の回答

バリアフリーなワンストップ窓口の設置を含めて、開かれた大学を目指してまいりますので、今後ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

⑥令和4年度に打ち上げの JAXA のイプシロンロケットに金沢大学衛星フライトモデルが搭載予定と聞く。

このロケットが超小型衛星の開発、「重力波天文学」の新たな発展に寄与するものと期待される。ぜひ、成功させて朗報を聞かせて欲しい。

また、このようなプロジェクトが、大学の知名度の向上、ステイタスの維持発展につながるので第二、第三のプロジェクトへの参加に大いに期待したい。

#### 金沢大学の回答

金沢大学衛星プロジェクトは、大学発の人工衛星で世界第一級の科学観測成果の創出を目指すとともに、人工衛星の開発に学生等を参加させることで、来る宇宙利用時代に向けて活躍できる理学と工学のスキルを併せ持つ人材育成を目指しています。また宇宙や人工衛星を題材として、石川県や金沢市等地域への情報発信や小中高生への宇宙教育についても取り組んでいるところです。現在、関係教員及び学生を含め、金沢大学衛星の成功に向けて全力で開発に取り組んでおります。

今後も、金沢大学の強みや特徴を活かした教育・研究を推進し、第二、第三のプロジェクトへの参画へつながるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜れますと幸甚に存じます。

#### 【その他カテゴリー】

①アカンサスに、金沢での生活情報についても触れたらどうか。(図書館、博物館、美術館、四高記念館でこんなことを学べる)

### 金沢大学の回答

いただいた意見も含め、よりよい誌面構成となるように、アカンサスの企画検討を進めていきたいと思っております。

アカンサスではありませんが、志願者対象に生活情報も入ったキャンパスライフガイドブック「START!」を発行しておりますので、こちらもぜひご覧ください。

[https://www.kanazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/start\\_2019.pdf](https://www.kanazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/start_2019.pdf)

②学内 wifi の通信速度が遅くなりがちなので、改善・強化してほしいです。

### 金沢大学の回答

KAINS-WiFi のシステム全体としては通信速度には特に問題は見られず、端末あたり 300Mbps 以上の通信もできています。

Wi-Fi の速度は様々な条件（アクセスポイントと端末間の遮蔽物や距離、電波空間のノイズ状況、端末の CPU 等の負荷状況、利用するサービスやシステム（ビデオ会議、学習管理システム、複雑な構造の Web サイト等）にも左右されます。

端末固有の問題の場合もあるため、総合メディア基盤センターの問い合わせフォーム <https://contactus.cis.kanazawa-u.ac.jp/inquiryform.php> に相談いただくと、より詳細なサポートが受けられます。

③私たちの金沢大学 2020, 拝読させて頂きました。他大学から進学してきたので、こういった冊子で学内の通年の活動や取り組みを改めて知ることができ、とても良い機会となりました。ありがとうございます。

### 金沢大学の回答

本学では、この度ご覧いただいた「私たちの金沢大学 2020」以外にも、多くの刊行物を発行しております。以下の URL では、大学案内、大学概要、データパンフ、金沢大学広報紙 Acanthus 等、様々な刊行物のデータも公開しておりますので、こちらもぜひご覧ください。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/prstrategy/publication>

④私たちの金沢大学 2020 の p.27 に金沢大学国際賞の紹介があるが、もっとページ数を増やして広報すべきではないか。

### 金沢大学の回答

第 2 回の金沢大学国際賞 受賞記念講演会では地域の皆様の関心も高く、多くの方にご出席いただきました。次回、掲載させていただく際には、この点も含めて紹介させていただこうと存じます。

⑤教員は教育と研究に専念すべきであり、一方、事務職員は、このことを可能ならしめるための環境の改善、条件の整備に専念すべきである。

教員と事務職員の双方にかかわる事務・事業については、個別に協議し、その都度、所掌のあり方を定めるべきである。

#### 金沢大学の回答

教員の業務については、各教員の職階に応じてエフォート設定しており、毎年度の活動実績報告に基づき、業務の低減について部局長と調整する機会を設けています。

また、研究資金の獲得については、URA や事務職員が十分に支援する体制整備を進めております。更に、優れた研究力を有する教員を確保するとともに研究に専念する環境を整備し、本学全体の研究力強化を図るためのリサーチプロフェッサー制度を平成 27 年 1 月に導入いたしました。

⑥大学と国・地方自治体（県・市町）との折衝、交流、情報交換、広報宣伝等に関する事務・事業は、一義的には事務職員に一任すべき領域と考える。

#### 金沢大学の回答

国・地方自治体との担当窓口については、先方の専門担当部署に応じて本学の担当部署が適宜連絡・調整を行っており、執行部の判断の下、連携する事業を進めております。

⑦学内における外部行政機関等との事務・事業にかかる専門の部署の設置を考慮されてはどうか。

#### 金沢大学の回答

外部行政機関等との事務・事業については、前述のとおり、現状では学内の専門部署は教育・地域創生・産学連携等、分野ごとの専門担当部署となっております。担当を越える案件がある場合には、相互の担当部署が連携を図っております。

⑧いままで大学の事務・事業は、教員と事務職員が車の両輪となって行われていると聞いてきた。しかし、実際はその多くは教員主導で動いていて、事務職員の役割は教員の補助的、随伴的存在にとどまっているように見え、また、思えてならない。双方の所掌を明確にしながら、とりわけ事務職員の主体性を育成強化することで、大学運営の総合力の向上を期すべきと思料する。

#### 金沢大学の回答

大学の事務・事業は多岐にわたります。その根幹である教育及び研究については、教員が教育の質の向上や研究成果の発表等に主体的に取り組み、事務職員がそれらの成果が上がるためにサポートを行っています。

他方、教育及び研究以外の事務・事業については、様々な部署で事務職員が主体的に企画・立案・実施に携わっています。例えば、部局をまたがって実施するような案件については、事務

職員が執行部の指示の下、全学的な調整・実施を行っています。

また、組織の改組や全学で取り組む必要がある事業への申請等についても、事務職員が本学の理念や進むべき方向性に沿ってコンセプトを考え、部局間や場合によっては他大学との調整を行うことがあります。

加えて、事務職員の人材育成として、大学改革推進委員会の運営を担う、大学改革推進室において、若手職員の広範な視野と大学改革に係る知見の醸成に向け、毎年度、室員の約1/4程度の中堅・若手職員を交替させており、その結果、経験者が各部局にも配置され、大学全体の育成強化が図られていると考えております。

今般のコロナ禍への対応においても、教員のみならず事務職員の主体的かつ機動的な対応が求められています。事務職員に求められる役割はますます増えており、ご指摘を踏まえ、大学運営の総合力を強化していきます。

⑨石川県の各大学等は、その殆どが山側環状道路周辺に集中している。他県には見られない稀有なケースである。この山側環状道路を上手く利用し、各大学等の連携、学生同士の交流を活発化し、さらには石川県・金沢市の持つ歴史や自然や文化、また街の魅力がさらに高まるよう、そのための方策をコンソーシアム石川が中心となり県・市等関係団体と検討・実行していただきたい。

そのためにも、山側環状道路と金沢市の中心地を循環するバスの運行ができないか。ぜひ検討願いたい。

### 金沢大学の回答

令和2年6月20日（土）開催の定時総会において、「大学コンソーシアム石川 将来構想・運営体制再構築検討委員会」を設置（設置要項、検討事項、委員会組織：別添参照）し、石川県における新学術エリア「金沢学園・研究開発都市構想」、大学コンソーシアム石川の将来構想と事業目的等の検討を開始したところです。

これまで2回の委員会を開催、学術研究開発都市未来構想、石川県内高等教育機関間の教育リソースの共有として、シティカレッジ単位互換事業の充実策、教養教育・基礎教育における単位互換、クロスアポイント制による教員の共同任用、共同の地域課題研究プロジェクトの実施等の検討を行っています。

学生を街中に呼び戻す構想についても検討しているところであり、ご提案の循環バスの運行も含め、県・市等関係団体とも協議し、検討を進めていく予定です。



発行・編集 金沢大学総務部  
〒920-1192 金沢市角間町 電話 076-264-5111